

## 第8回中四国MIS研究会 開催報告

2018年6月23日(土)に岡山コンベンションセンターにて、第8回中四国MIS研究会を開催させていただきました。136名(医師55名、コメディカル81名)の方に参加していただき、盛会のもとに無事終了しましたことをご報告いたします。

今回の中四国 MIS 研究会では、特別講演、一般演題(医師の部、コメディカルの部)、ハンズオンレクチャー、コメディカルによるグループワークショップを行いました。一般演題は、医師8題、コメディカル6題のご演題を頂戴いたしました。どの演題も非常に興味深い内容で、活発な意見交換、討議が出来ました。特にコメディカルの部では、看護師、放射線技師、リハビリテーションPTなど広い領域から演題をいただき、新しい風を吹き込んでいただきました。

ハンズオンセッションは5社に協賛していただきました。医師とコメディカルの両者を対象としてPPS(腹臥位挿入、側臥位挿入)を中心に各社2名の講師の先生方にショートレクチャーを行っていただいた後に、実際の手技をご指導いただきました。

また、コメディカルを対象としたグループワークショップでは、より良い手術器械出しをするためにどうしたら良いか?をテーマに、グループに別れて意見交換を行っていただきました。病院間の垣根を超えた活発な意見交換が行われ、昨年に引き続き盛り上がったワークショップとなりました。

本研究会では、2名の先生に特別講演を賜りました。

社会医療法人 祐生会 みどりヶ丘病院 脊椎脊髄外科センター 部長 成田渉先生には、「側臥位脊椎手術と仮想現実(VR)の展望」と題し、VR技術の脊椎外科領域への活用方法を分かりやすく示してください、近年話題となっている側臥位手術へのVRの応用経験と今後の展望についてご講演いただきました。

社会福祉法人 聖隸佐倉市民病院 整形外科 院長補佐 小谷俊明先生には、「急性期病院における病診連携と多職種連携-リエゾンサービスチームの作り方」と題し、骨粗鬆症治療におけるチーム医療の大切さとリエゾンサービスチームの作り方から実際の活動経験についてご講演いただきました。

今回の研究会を成功裏に終えることができ、御参加いただいた先生方、医療スタッフの方々に感謝申し上げます。また、共催の旭化成ファーマ株式会社、協賛の各メーカーの皆様のお力添えに対し、この場を借りて感謝申し上げます。

本研究会の満足度を調査したアンケートでは、全体の満足度が平均84.6%でした。

各セッションについては、ハンズオンが89.6%、ナースグループワークが84.2%、テーマ・構成・内容については96%でした。また、86%の方が次回も同じような企画であれば参加したいと回答されました。

次回、第9回中四国 MIS 研究会は、2019年5月25日(土)に鳥取大学 整形外科 講師 谷島伸二先生を会長として開催される予定です。会場など詳細については後日開示予定です。

日本MIS研究会会員の皆様におかれましては是非ご参加いただきますよう、何卒よろしくお願ひいたします。

第8回中四国 MIS 研究会  
会長 生熊久敬(香川県立中央病院)





